

第 7 回口語詩句賞の授賞

公益財団法人佐々木泰樹育英会（2016 年設立、理事長＝佐々木泰樹）は、2026 年 3月30日に第 7 回口語詩句賞授賞式を開催し、各賞を下記の 5 名に授賞しました。

受賞者

大賞（賞金 100 万円）	常田 瑛子
奨励賞（賞金各 10 万円）	牛田 悠貴
	川上 真央
	田中 まい（筆名 石村 まい）
	和田 実希（筆名 塩本抄）

選考委員

暮田真名（川柳人）、小島なお（歌人）、杉本真維子（詩人）、高橋修宏（俳人・詩人）、立花 開（歌人）、西躰かずよし（俳人）、林 桂（俳人）、龍 秀美（詩人）
※龍秀美氏は二次選考欠席

リンク

第 7 回口語詩句賞（総合）	https://sasakitaijuikueikai.or.jp/news/3752/
選考方法・選評・参考作品	https://sasakitaijuikueikai.or.jp/wp-content/uploads/2026/03/ko_a07results.pdf

口語詩句賞は 2019 年度設立の公募の文学賞です。通例、俳句や短歌、川柳、現代詩など、ジャンルごとに評価される日本語の短詩領域において、「口語」であることを軸とし、様々なジャンルの作品を包含する点を大きな特徴としています。

佐々木泰樹育英会は「口語詩句投稿サイト 72h」（www.kougoshiku-toukou.com）を創作・発表のプラットフォームとして、「口語詩句賞」および「口語詩句奨学金」（中学生・高校生・大学生・大学院生）の事業を展開し、口語による短詩の創作活動普及を推進しています。

後援＝一般社団法人現代俳句協会・株式会社思潮社 現代詩手帖編集部

本件に関するお問合せ先

公益財団法人佐々木泰樹育英会 | 東京都中央区明石町 8-1 聖路加タワー 40 階

<https://sasakitaijuikueikai.or.jp/contact/>

受賞コメント・略歴（選考時点）

常田 瑛子

小学校で学校司書をしています。勤務先の学校図書館はキリンが飼えそうなくらいの吹き抜けがあり、いつも温かい笑い声が響いています。私はカウンターで、生きている言葉や活字になった言葉と接しています。子ども達は、小さな嵐です。どの嵐も妙に明るくて、私に心の在処を教えてくれます。

短歌を詠むとき、生まれる前の草原を想います。その草原にそっと近付くと、光が生まれます。その光を見つけてくださり、ありがとうございます。

*つねだえいこ。一九八七年生まれ、山口県在住、学校司書。第六回口語詩句賞奨励賞。

牛田 悠貴

学生時代には全く縁のなかった文芸の世界、それも川柳の世界に、自分がここまでハマってしまったことに驚いています。

二〇二五年度は、ちょっとくらい息苦しくなっちゃってもいいから、本気で川柳と向き合ってみようと思っていたので、その終わりに、このような賞をいただけたことが大変嬉しく、ありがたく、光栄です。これからも（これからはまた、私自

身のペースも意識しながら）川柳との関係の仕方を更新し続けていきたいです。

*うしだゆうき。一九九八年生まれ、東京都在住、音楽療法士。

川上 真央

この度はこのような素晴らしい賞をいただき、大変光栄に思います。口語詩句のサイトに投稿を始めたから、私の世界は大きく広がりました。みなさまの作品に日々刺激を受けながら、創作を通して遠くの誰かと繋がれるよろこびを噛みしめております。まだまだ至らないところばかりですが、日常に埋もれているささやかな感情を掬い上げる言葉を紡いでいけるよう、この賞を励みにこれからも精進してまいります。

本当にありがとうございます。

*かわかみまお。二〇〇七年生まれ、東京都在住、早稲田大学文学部文学科日本語日本文学コース在学。二〇二六年度口語詩句奨励賞。

田中 まい（筆名石村 まい）

このたびは奨励賞をいただき、とても光栄に思います。日頃お世話になっている方々をはじめ、佐々木泰樹育英会および選考委員の方々へ深く感謝申し上げます。

創作から離れてしまった時期が二年ほどあり、そのときはもう何も

つくれないと思っていました。しかしふたたび、言葉の世界に足を踏み入れ、それを心から楽しいと感じられるようになりました。これからも、文芸がそばにあることを信じて、自分なりに進んでいきたいと思いません。

*たなかまい。一九九九年生まれ、兵庫県在住、専業主婦。

和田 実希（筆名塩本抄）

完全には分かり合えない世界で、どうしても足りない言葉で、世界や自分を伝えようとすると子どもの姿を見てきました。口語詩句投稿サイトで投稿する度、彼らのように言葉を試行錯誤する喜びを味わっていたと思います。そのなかで、選者の皆様や投稿者の皆様からはたくさんのお言葉を学ばせていただきました。

これからも詩句と正面から向き合い、こつこつと精進していきます。財団の皆様、選者の皆様、また投稿者の皆様、ありがとうございます。*わだみき。一九八八年生まれ、石川県在住、公務員。



第7回口語詩句賞授賞式
(帝国ホテル・桜の間、2026年3月30日開催)